

【4号湾岸線(大浜～泉大津)リニューアル工事】の完了について ～工事へのご理解とご協力、誠にありがとうございました～

4月16日(火)午前4時から10日間にわたり昼夜通行止めにより実施しておりました「4号湾岸線(大浜～泉大津)リニューアル工事」は、4月26日(金)午前5時46分をもちまして、予定どおり完了いたしました。

工事期間中は、お客さまや沿道にお住まいの皆さまのほか、多くの方々に大変ご迷惑・ご不便をおかけするとともに、工事へのご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

なお、今回のリニューアル工事において実施した工事内容について、以下のとおりご報告させていただきます。

1. 工事の概要

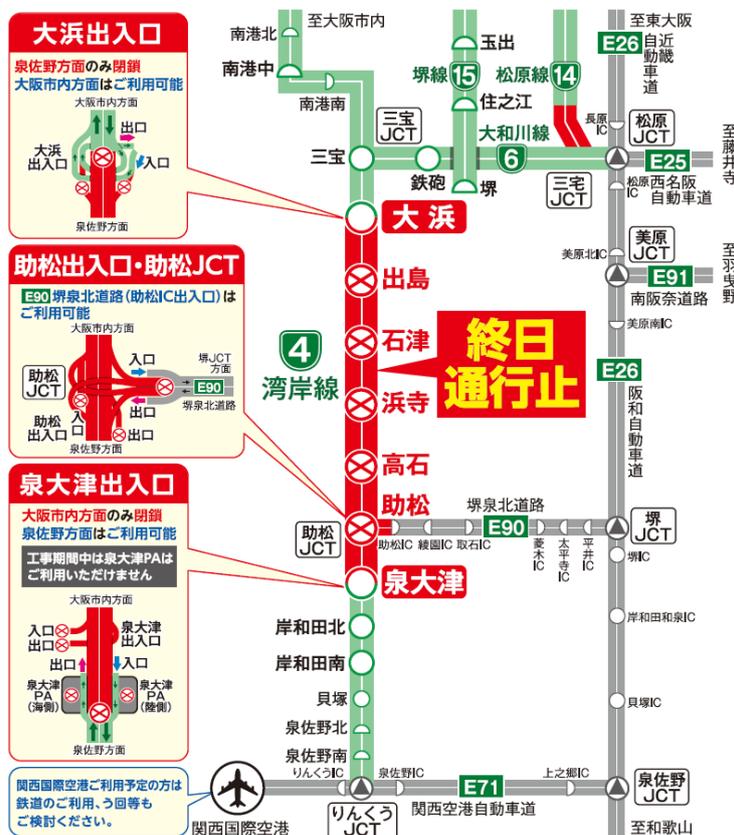
① 工事期間

2024年4月16日(火)午前4時 ～ 2024年4月26日(金)午前5時46分

② 工事区間

阪神高速4号湾岸線(大浜～泉大津)の上下線 約11.1km

[出入口・PA] 大浜入口(南行)、大浜出口(北行)、出島出入口、石津出入口、浜寺出入口、高石出入口、助松出入口、助松JCT出入口、泉大津入口(北行)、泉大津出口(南行)、泉大津PA(海・陸)、高石PA



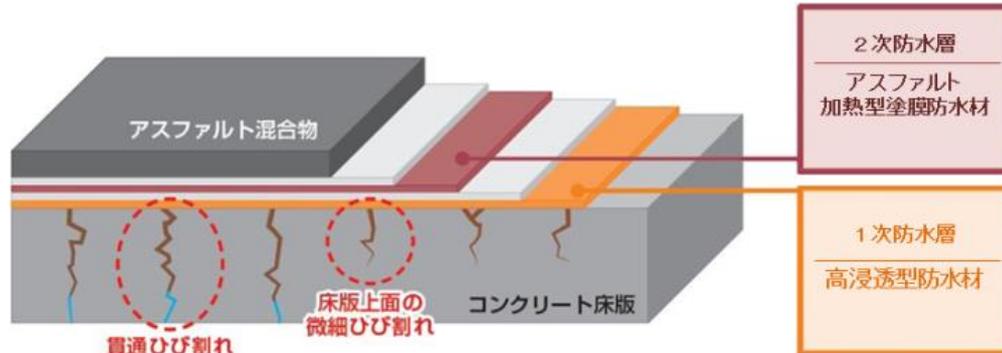
工事範囲

③工事の実施内容

■構造物の長寿命化

1) コンクリート床版区間における高性能床版防水の施工

コンクリート床版に対して、ひび割れへの浸透性の高い1次防水層(高浸透型防水材料)と2次防水層(アスファルト加熱型塗膜防水材料)を組み合わせた高性能床版防水を施工することで、床版への雨水の進入を抑制し、コンクリート床版の長寿命化を図りました。



高性能床版防水の概念図 (コンクリート床版の上面)



アスファルト舗装の撤去状況



高性能床版防水の施工状況

2) 鋼床版区間における SFRC 舗装の施工

鋼床版の疲労き裂が発生している箇所に対し、既設のアスファルト舗装を剛性の高い鋼繊維補強コンクリート (SFRC) 舗装に置き換えることで、長寿命化を図りました。



SFRC 舗装の施工状況



SFRC 舗装の施工状況

■安全性・走行性の向上、沿道環境の改善

通行止め区間において、損傷した古い舗装を走行性・視認性の高い排水性舗装などへ更新し、安全性・走行性の向上を図りました。また、損傷した古い伸縮継手(ジョイント)を取替えることで走行性の向上や沿道環境の改善を図りました。



工事前



工事後

舗装の施工状況



工事前



工事後

伸縮継手の施工状況

■サービス向上

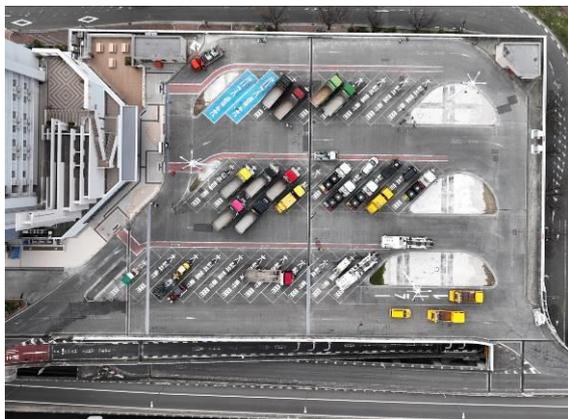
4号湾岸線の助松ジャンクションでは、誤って高速道路に進入する「誤進入」が課題となっていたため、高速道路の入口であることが直感的に理解できるよう、カラー舗装を施工するとともにわかりやすい案内標識への取替えを実施しました。



泉大津 PA 案内の改良

■泉大津 PA の改良

「物流の 2024 年問題」の対応も踏まえ、泉大津 PA（海側・陸側）3 階の大型車専用駐車場について、駐車場の区画線を変更し、大型車の駐車マス数の拡充（海側：31 台→37 台、陸側：31 台→35 台）を図りました。また、古くなった駐車場照明設備を省エネ効果の高い LED 照明へ取り替えたり、和式便器を洋式便器へ取り替えるなど、お客さまにとってより使いやすい PA への改修を実施しました。



工事前



工事後

大型車駐車マス拡充の状況



トイレ改修後の状況

2. さいごに

今回のリニューアル工事では、15号堺線や阪和自動車道、通行止め区間と並行する一般道路（大阪臨海線、国道26号）など、広範囲への交通影響が懸念されました。そのため、テレビ、ラジオ、横断幕による広報に加え、SNSや動画サイトなど、あらゆる媒体を活用し、お客さまにお車でのお出をお控えいただくことや、う回ルートをご利用いただくことなど、工事へのご理解・ご協力をお願いしてまいりました。ご不便をおかけしましたが、おかげさまをもちまして予定どおり工事を完了することができましたこと、あらためて御礼申し上げます。

一方で、工事期間中、お客さまからのお問い合わせ・ご意見等も数多くいただいております。いただいた貴重なご意見をもとに、今後のリニューアル工事における広報計画・沿道対策・交通影響対策がより良いものになるよう、検討を進めてまいります。

今後とも、阪神高速リニューアルプロジェクトへのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



工事完了いたしました
ご理解・ご協力ありがとうございました